必須-5

中学校

学習のねらい ~避難所と避難者について考える~ 〇中越大震災、中越沖地震の時の避難所の様子を知る。 〇避難所における中学生の役割や行動について考える。

知る 考える 行動する

■事前の準備

- ○【資料303】を参考に、学校区周辺の避難所を調べ、リストを作成しておく。
- 〇避難所生活を経験したことのある先生や知人・友人がいれば、当時の状況を聞いておく。

	学習内容 (展開例)	指導ポイント・使用資料
	1. 避難所への関心を喚起する ①学校や自分の家の近くの避難所を知っているか問いかける。	注:グループ(班)別の学習を想定
【導入】	②学校区周辺の <u>避難所リスト</u> を各班に配って、 地震が起こった時の避難所を確認させる。	◆ <u>資303:各市町村の避難所リストの入手先</u> (上記をもとに教職員が準備する)
	③地震が起こった時の避難所について学習することを伝える。	<指導ポイント> ○自分たちの中学校も避難所になること。 ○自分がそこで避難生活を送る可能性もあること。
	2. 避難所について知る ①避難所の様子の写真をプロジェクターやモ	◆資205:避難所の様子
	ニター等で映し、中越大震災及び中越沖地震 の際の避難所の様子であることを伝え、写真 について説明する。	是 200 · 加夫的 0.04米]
	②感想や思ったことを発表させる。	写真是は、Cataleを取りくUpp会
【展開】		・プライバシーがない。・周りの音や声がうるさい。・トイレが混雑する。
		〈指導ポイント〉 ○地震は被災地域が広い場合が多いため、他の災害に比べて避難所を利用する人が多いこと。 ○住宅や地盤が崩れた場合、地震がおさまっても帰宅できない人が多く存在すること。(避難生活が長引く) ○プライバシー確保のため、自動車の中で

暮らす人も多いこと。

	学習内容 (展開例)	指導ポイント・使用資料
【展開】	3. 避難所において自分たちができるこ とを考える	
	① ワークシートを配付し(A3以上に拡大コピーまたは模造紙に同じ表を書いておき、各グループ(班)に1枚ずつ配付することを想定)、避難者が困ることや不便を感じることをグループごとに話し合わせ、表に書き込ませる。 ②上記の避難所で困ることや不便を感じることに対する解決方法について話し合わせ、表に書き込ませる。	◆ワークシート05 <指導ポイント> ○お年寄りや乳幼児、妊婦、外国人、障害者など、災害の時に逃げ遅れたり、避難所で孤立する人たちがいること。 ○避難所生活では、災害発生による不安でパニックになる人がいること。 ○自動車に避難した場合、「エコノミークラス症候群」という病気に注意する必要があること。 ※エコノミークラス症候群とは 狭い空間などで長時間同じ姿勢を取り続けていると、足などに血栓ができ、血管が詰まって、時に死につながる病気。中越大震災後、自動車で避難生活をおくる人たちが発症したことで注目された。
	③上記の解決方法をもとに、自分たちにできる ことを話し合わせ、表に書き込ませる。	■想定される答え ・避難所内の案内表示(マップなど)の作成。 ・食事や物資の配付手伝い。 ・幼い子どもの世話や遊び相手。 ・日本語が不得手な外国人への通訳。 ・避難所の掃除。
	④表に書いたことをグループ毎に発表させ、全 体で共有を図る。	<指導ポイント> ○避難所での行動に正解はなく、他者に対して何ができるかを考え、それを実行するという意識や姿勢が大事であること。
【まとめ】	4. 避難所についてわかったことを確認 する	
	①中越大震災やその他の災害で避難所生活を経験した教職員は、その時の体験談(知人や友人の体験でもよい)を話す。	
	②授業の感想、新たに知ったこと、考えたことを ワークシート に記入させて、何人かの生徒に発表させる。	◆ワークシート05